

子ども特派員 わが街を行く！



この紙面は、自分たちの住んでいる街や校内活動を、自分たちで取材・編集する「子ども特派員」とともに編集しています。今回の「子ども特派員」は、三島小学校6年生の皆さんが、「三島小祭り」の様子をご紹介します。

たくさんの人の支えに感謝 ～わたしたちの三島小祭り～

今回、私たち子ども特派員は、11月1日に行われた学校行事「三島小祭り」を紹介します。

この「三島小祭り」は、2学年ずつで行う学習発表や、出たい人が好きなことを発表できるフリーステージを午前中に、そして午後からは模擬店、バザーなどをやります。

午前中の学習発表では、1・2年生による合唱、3・4年生による詩の発表、5・6年生による合奏などがありました。自分たちで頑張った合奏は、練習ではなかなか合わなかったけれど、本番で合わせる事ができ、練習の成果が出せてうれしかったです。

フリーステージでは、私たち6年生は全員で歌とダンスを披露しました。少し恥ずかしかったけれど、全員で出たのは今回が初めてで、みんなとの絆が深まり、6年間で一番楽しかったです。

午後は、バザーと模擬店を楽しみました。バザーには、食器や洋服、おもちゃなどが売っていました。模擬店では、焼きそばやフランクフルトなどが売られていました。



私たちは、前日から準備をしてくれたPTAの皆さんにインタビューをすることができました。「バザーの売り上げは何につかうんですか」と聞くと「三島小の児童のために使います」と話してくれました。また「三島小祭りの準備はどんなことをしているんですか。準備は大変ですか」と聞いたときは「食べ物の買い出しや、野菜などを切ったりする下準備をしている。でも、たくさんの人が準備に協力してくれるので、それほど大変ではない」と笑顔で答えてくれました。



三島小祭りは、私たちが入学するずっと前から続いている行事です。私たちが楽しく過ごせるのは、前日の夜おそくまでバザーや模擬店などの準備をしてくれたPTAの皆さんのおかげです。感謝の気持ちを忘れずに、これからも毎年、楽しい三島小祭りが続いていくといいなと思いました。

